



令和5年度 JUNBA 総会 議事要旨

日時: 令和5年5月25日(木) 15:30~16:00

場所: JSPS サンフランシスコ研究連絡センター内会議室

出席者:

【理事】桜美林大学(丸山会長)、大阪大学(Scott 副会長)、名古屋大学(神山理事)

【事務局】日本学術振興会(中別府事務局長(兼常務理事)、太田副センター長、田邊)

【アドバイザー】JETRO(林所長)

[エグゼクティブアドバイザー] サンフランシスコ日本国総領事館(黒川領事) ※委嘱中

【オブザーバー】大阪大学(東澤)、UC San Diego(和賀)、早稲田大学(眞谷)、UC Berkeley(野村)、

【議事】

(1) JUNBA の現況について【資料1】

事務局から、資料1に基づき、JUNBA 会員及び役員の現況について説明があった後、諮られ、審議の結果、了承された。

(2) 令和4年度事業報告及び決算【資料2】

事務局から、資料2に基づき、令和4年度の JUNBA 事業報告及び決算について説明があった後、諮られ、審議の結果、了承された。

(3) 令和5年度事業計画及び収支予算【資料3】

事務局から、資料3に基づき、令和5年度の JUNBA 事業計画及び収支予算について説明があった後、諮られ、審議の結果、了承された。

なお、予算の執行に当たっては、JUNBA の活動内容の変更に伴って用途が変更されることが問題無いことを確認した。さらに、次年度の収支予算計画については、JUNBA20 周年を見込み、今年末までに検討したい旨確認した。

(4) その他

理事会で議論された内容についての確認があった。主に、今後の JUNBA が何を必要としているのか、何をしたいのかということを検討すること、また併せて理事会にて今年度は会則の見直しを行い、より多くの大学が参加しやすい会を目指すことが確認された。会則の変更に当たっては、必要であれば臨時総会を開くことについても確認をした。

JUNBA の名称についても、今後対象を全米に広げていくことに合わせて、変更の検討が必要であることを確認した。これについて、オブザーバーとして参加した野村氏からは、JUNBA の知名度について、アウトリーチの余地がまだまだあることについて指摘があった。

≪配布資料≫

【資料1】 JUNBA の現況について

【資料2】 令和4年度事業報告及び決算

【資料3】 令和5年度事業計画及び収支予算